

教育プログラム・コースの概要

大学名等	大阪医科大学大学院医学科						
教育プログラム・コース名	希少がんに関する放射線治療を担う人材養成コース						
対象者	医学専攻 博士課程						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	希少がんに関連するIGRT、IMRTなど新しい放射線治療技術を取得でき、国際的に活躍できる人材 放射線治療の希少がんにおいて、患者の生命予後だけでなく生活予後にも配慮した治療を行う事が出来る人材						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	希少がん等含めた放射線治療に必須な腫瘍学等の基本事項について履修し、地域がん診療拠点病院として指定されている附属病院や連携病院等で最新の治療技術の習得を行い、希少がんに関する放射線診断・IVRと放射線治療の両グループで連携して教育を行う。 チーム医療教育として、がんセンターで開催する研究会カンファレンス、多職種からなるキャンサーボードに参加し、附属病院、連携病院、関連病院から希少癌がん等を含めたチーム医療教育の中で、最新の治療方法の習得を行う。						
指導体制	放射線医学教室は診療科としても放射線診断科と放射線治療科として位置付けられており、附属病院に加えて連携病院等との診療教育体制の中で、研究会カンファレンス等を定期的に開催して指導している。またがんセンターでの多職種カンファレンスに参加し最新の医療技術含めた情報が指導体制の一環で機能して体制の一翼を担う。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	がん拠点病院で最新の放射線治療に関する診療・研究を行い、放射線専門医取得を目指す。						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医学専攻 博士課程	1	1	1	1	1	5
	計	1	1	1	1	1	5